

も たに

母谷たつりの後援会便り

平成16年(2004年) 4月 Vol.15
 発行 母谷たつりを育てる会
 ホームページ <http://www.motani.jp>
 編集 岡田 孝



市政報告

謹 啓

例年より早い桜前線の北上が伝えられていましたが、緯度の高い東京が広島より先に開花宣言され少し驚きました。今年は天候に恵まれて日持ちの長い桜に心を和ませることができ大変喜んでおります。

さて、イラク戦争が始まって3月20日で丸1年が経過いたしました。この間、12月にはサダム・フセイン元大統領がアメリカ軍によって拘束されるというニュースが伝えられ、疑惑解明もあと僅かという期待感を抱かせましたが、大義名分であった大量破壊兵器は未だ発見されず、今もイラク国内ではアメリカ軍等との間で小競り合いが続き、問題の解決にはもう少し時間がかかりそうです。

しかしながら、その一方で日本による給水活動を中心とした懸命な復興支援活動が行われており、今後のイラク国民にとって必要不可欠な公共事業が進められようとしております。政府は既にイラクに対し平成19年度までに総額で50億ドルの政府開発援助（ODA）を国際社会に約束しておりますがこのような国際貢献は世界のどの国もができるのではなく、日本の果たす役割は重要であると考えております。

今後は治安の維持向上と安定が求められており、一日も早い民主政権の樹立が必要であります。ブッシュ大統領も6月30日までに主権移譲を果たすと明言していることから、各国のさらなる協力のもと国連主導の復興支援が望ましいと思っております。

現在、日本国内では通常国会が開会されており、平成16年度一般会計予算が3月中に早々と可決され「ベタなぎ国会」などと揶揄されておりましたが、邦人3名の人質拘束事件が発生するなど緊迫した状況になり、復興支援の難しさを痛感いたしております。

一方、国内問題は年金制度等極めて深刻な状況に直面していると言わねばならず、その信用性の乏しさは特に若年層において顕著であり、抜本的な制度改革が求められております。この問題はわが国における社会保障制度の根幹を揺るがす最重要案件であることから超党派で全国会議員が真剣に取り組まなければならない重要課題であり、大いに議論すべきであります。



桜の標本木が春の訪れを告げこれから初夏を迎える縮景園

さて、我が広島市においては2月12日に召集告示がなされ、同19日から37日間の日程で定例会が開会されました。このなかで24日から26日にかけて行われた総括質問に、私は自由民主党を代表して登壇し、市長の政治姿勢をただしました。その後、3月4日からは予算特別委員会が設けられ、ここでも数多く発言の機会を与えられ、皆様方の生の声を議会に反映することができた喜びと充実感で一杯でございます。

今定例会に上程された平成15年度の2月補正予算をはじめ16件の議案は原案可決となり、補正後の一般会計予算規模は1兆1千506億1,375万6,000円となりました。また、新年度予算関係では66議案が上程され、そのうち一般会計予算では「公共事業見直し委員会」、「市政創造委員会」、「公営企業等のあり方検討委員会」の3委員会に対する運営費の合計1千459万7千円を減額修正するとともに「広島市立舟入・こども病院事業会計」予算と同条例の内、名称の変更に係る部分を修正いたしました。広島市下水道条例の一部を改正する議案については12月議会で否決後今議会で改めて提案され、12月時の平均で22.91%から13.40%への値上げと大幅なダウン提示になりましたが、議会はこれに妥協することなく、基本料金を625円から700円に値上げする提案を10円削減する690円とした修正案を可決いたしました。

広島市議会では12月定例会の3議案否決に引き続き、2月定例会でも3議案が修正可決されるという異常事態になっています。なかでも新年度一般会計当初予算案が修正されるのは昭和55年の政令指定都市以降初めてのことであり、事実上、**秋葉市長に対する議会の不信任**というメッセージが送られました。

この結果、一般会計当初予算のうち投資的経費等その他の経費は対前年度比マイナス30%という超緊縮の予算編成となり、7年連続してマイナス予算になりました。その予算規模は一般会計で5,321億9,953万7千円となり、全会計では1兆1,253億2,190万4千円となりました。

なお、予算関係以外の議案では議員からも5件の議案が提出され、そのうち3件が可決されました。なかでも議員提出第4号議案「議会の

議決すべき事件に関する条例」の全部が改正され、広島市基本計画を達成するための決定、変更又は廃止について議会が全面的に関与し、この難局を乗り切ろうとする姿勢を示しました。

また、議員報酬の削減についても議論されましたが、その節減額は定数削減による金額の比ではないことから小手先の経費節減を叫ぶパフォーマンスではなく、周辺町村との合併問題や来年秋に行われる国勢調査後、抜本的に「議員定数を見直す決議案」が可決されました。既に広島市議会は議員報酬を永年にわたって据え置いてきたことや法定数を常に下回る議員定数を条例で定めてきた歴史と経緯があり、他に比べその自助努力は大いに評価されるべきものであると考えております。このほか、今定例会中に2人の課長が相次いで逮捕されるという事件が発生したことにより、「職員に対するさらなる綱紀粛正を求める」決議案と渋滞対策として長期懸案である「一般国道2号西広島バイパス都心部延伸の促進を求める」決議案が可決されました。広島市域西方面の住民にとってこの渋滞緩和策は永年の悲願であり、私自身、議会に送っていただいたこの5年間、懸命に努力を重ねているところでございます。

しかしながら秋葉市長は平成14年度から2年連続で国の予算を返上し続け、周辺自治体で構成する「西広島バイパス高架促進期成同盟会」の会長としてあるまじき言動を繰り返しています。こうした背景から議会ではその促進と一層の努力を求める決議案を提出し、私はその趣旨説明を本会議場で行うという大役を仰せつかり、圧倒的賛成多数で可決されましたことは誠に光栄の極みでありました。

本市では財政再建をはじめとする諸問題山積であります。今後とも自らの責務を果たし、「明るく、元気で、魅力ある広島の実現」を目指して邁進する所存でございますので、引き続きご支援、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

末筆ではございますが皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。 謹 白

広島市議会議員 母谷龍典

ご意見 お願いは **いい汗流そう!! いい笑顔つくろう!!** 私が直接 返事します
母谷たつりのホットライン あなたの声を聞かせて下さい。ダイレクトメール mokkun@cc22.ne.jp へ

平成16年第1回定例会 総括質問原稿

明治22年(1889年)4月1日、この日広島地方はあいにくの雨模様で最高気温11.1度とこの時期としては肌寒い一日となりました。全国にはじめて市制が施行されたこの日、大阪、京都、神戸、横浜などと並んで広島市が誕生し、全国で31の都市が日本で最初の市となりました。同時に広島市の初代市長には医師の三木 達氏が就任いたしました。

毛利輝元が広島城の築城に着手し、この地を「広島」と命名した天正17年(1589年)から数えてちょうど300年目のこととなりました。

それから時は流れ、今年の4月1日には市政115年目を迎え、昭和55年(1980年)の政令指定都市移行後においても来年で25年目を迎える歴史と伝統ある我が広島市であります。人口は広島市発足当時の83,387人から平成15年12月末現在で114万0030人と目覚ましい発展と変貌を遂げています。

また、110年前の明治27年(1894年)、日清開戦の年9月15日には広島城内に大本営が置かれ、臨時国会が開会されるなど臨時首都として重要な役割を果たし、「中国地方の政治、経済、文教、文化、交通の中心都市として栄えた」と記されています。しかしながら太平洋戦争末期の昭和20年(1945年)8月6日には世界ではじめて原子爆弾が投下され、街は一瞬にして壊滅状態になりましたが市民は深い悲しみと苦しみを乗り越えて生きるために焼け野原から敢然と立ち上がったのであります。

それまで名誉職として任命されていた市長職は戦後初めて導入された公選制により、昭和22年4月17日、濱井信三市長が誕生し、新たな街づくりが始まりました。初代市長の三木 達氏から数えて20代目のこととなります。

濱井市長はその前年、被爆1周年を迎えた市民が犠牲者の霊を慰め、力強く復興の誓いを立てて大々的に開催した「平和復興祭」を足がかりに、就任間もないその年の8月5日から3日間、広島市として初めて『平和祭』を実行し、8月6日全世界に向けて力強く、そして声高らかに平和宣言を読み上げました。誠に勝手ながらその内容は質問時間の制約からここでは省略させていただきますがご承知のとおり濱井市長は自らが被爆者であり、文字通り悲しみと苦しみに打ちひしがれた市民とともに広島復興をめざして命と平和の尊さを訴えたのであります。当時はまだGHQの占領・統治下であって、こうした催しや米国非難は必然的に憚られる時代であり、開催自体が大変困難であつたと記録され、一命を賭したこの行動から志の強固さが



窺えます。これが現在行われている平和記念式典の原形となっており、市長在任の晩年には市議会も議決した原爆ドームの永久保存に情熱を燃やされ、紙屋町、八丁堀など自ら街頭に出てその必要性を訴え、その熱き想いは広島に留まることなく寒風吹きすさぶ東京・数寄屋橋の袂においても繰り広げられ、それまで思うに任せなかった募金活動は火が点いたが如く一気に全国へと広がり、当初の目標金額4,000万円を遥かに上回る成果を成し遂げた結果、翌年の昭和42年(1967年)8月、募金により永久保存工事が完成したのであります。その後、平成2年(1990年)にも第2回目の保存工事が行われ、募金活動を初めて行った年から数えて30年目の平成8年(1996年)12月にはユネスコの世界文化遺産に登録され、来年は被爆60周年を迎えるのであります。

こうしたなか広島市では去る2月2日夜半、「広島市課長、詐欺で逮捕」のニュースが報道され、翌日の朝刊には大々的にその記事が掲載されるなど広島市にとって不名誉極まりない事件が発生いたしました。その容疑の内容は広島市の未来エネルギー研究機関の誘致構想を口実に会社員から現金2,300万円を騙し取ったと言うものであります。

しかしながら、この逮捕以来、今日まで秋葉市長は行政のトップとして市民に対する真摯な謝罪や説明など無いのであります。保身のために責任逃れを意識しているのか全くその誠実さは窺えません。取材や記者会見、本会議の場などそれを表す機会はいくらでもあったと思いますが定例会初日の冒頭、形式的な態度表明をただけであります。市長部局の職員が引き起こしたこの事件について**任命権者のトップ**として市長はどのように受け止め、責任を感じておられるのか先ず伺いをいたします。先月の2月9日に容疑者は退職届を所管局長に対し提出いたしました。受け取りを拒否されたようであります。何故そのような対応となったのか念のためご説明ください。

また、一方で容疑者個人名義の口座には1億円の入金残高があることも広島県警捜査2課の調べでわかっていますが、ここで腑に落ちないことが何点かありますので申し述べます。

先ず第一点は、新聞報道によれば株の取引で多額の損失を出し、2千数百万円の借金返済を迫られていたというのが動機となっておりますが個人名義の口座に1億円もの残高がありながら何故、詐欺を計画しなければならなかったのか不思議でなりません。

この点について当局はどのような見解をお持ちになっているか伺います。

第二点は、平成15年5月20日に設立された株式会社ハイバックという会社についてであります。この会社は広島地区の自動車関連産業の活性化をねらって広島市が自ら音頭をとって部品メーカーなど16社が共同出資した授権資本2億5千万円、振込資本金2,400万円の会社であります。このように広島市が出資をしているわけでもない民間会社にも容疑者は深くかかわりを持っ

ていたようでありますが、現在、この会社と広島市との間でトラブルが発生していると聞いております。

そこで次の4点についてお尋ねいたします。

1. 株式会社ハイバックの設立にあたり、なぜ広島市が自ら音頭をとる必要があつたのか。
2. この会社の設立準備から現在まで、広島市はどのような立場と役割を果たしてきたのか。
3. 現在、広島市との間で発生している融資を巡るトラブルとはいったいどのような内容か。
4. 過去、市長自らが展開してきた欧米自動車メーカー等へのトップセールスがこの会社設立の大きな要因になっていると思うのですが、16社による出資企業等これから秋葉市長に対して選挙費用に関する寄付や政治活動に対する献金などの行為はあつたか否か。

以上の点について明快な御答弁をお願いいたします。

次に新年度予算に関連してお尋ねいたします。

秋葉市長は具体的な都市像や都市計画を示すことなく、自らへの諮問的な機関として「公共事業見直し委員会」を昨年夏に設置され、7月18日の第1回会合から5回にわたる会議を経て10月30日に5件の大規模プロジェクトの中止を含む第1次中間報告が、また、今年1月26日には通算10回目の会議を経て、2月5日、20件におよぶ大規模プロジェクトの「いったん中止」を内容とする第2次中間報告が取りまとめられ、国施行による2事業についても別項扱いで秋葉市長に報告されたところであります。

ところが財政健全化や新年度予算の編成を行う上で「公共事業見直し委員会」なるものの必要性や妥当性、その手法について市民の代表であるはずの議会や議員に対して何ら説明のないまま突然、片方の車輪だけが一輪車の如く走り出したのであります。

そもそも『この委員会のメンバーはどのような基準で決まったのか』、『どのような経歴や専門知識を持った人が選ばれたのか』、『どこで誰がどのようにして決めたのか』など議会としてそれらを判断する材料や委員会の報告内容を精査するための土台は全く整っていないなかで新年度予算の編成に色濃く影響を与えたこの当初予算案の内容は我が会派として到底受け入れられるのではなく極めて重大な問題を抱えております。

私は市民生活に重大な影響を及ぼす新年度予算は多くの議案のなかでも特に慎重に扱われるべきであり、秋葉市長がお気に入りの委員だけを指名し、構成されたこの度の「公共事業見直し委員会」は公平性、中立性を大きく損なうものであると考えております。少なくとも議会に対し、そのような打診が無かつたことと現実にこのメンバーのなかに議会の推薦した委員や市民の代表はひとりも含まれていないことを申し添えておきます。

釈迦に説法かもしれませんが車輪は左右

の両輪が揃ってはじめて安定した走行ができるのであり、前輪、後輪はお互いを補完し合いながらその安全性と持続性を高め、それぞれ独立した機能を果たすものであります。このような我々を取り巻くその代表的な定めこそが地方自治法あり地方公務員法ではないのでしょうか。

敢えて苦言を申し上げれば秋葉市長の政治姿勢や政治手法はこうしたお互いの立場を認め合いながら進めるべき法の精神や舵取りを全く無視し、ひたすら天上天下唯我独尊に心酔して議会を蔑ろにしてきた5年間だったのではないのでしょうか。

市長就任以来5年目を終えて、その集大成が今回の「公共事業見直し委員会」による報告内容を反映させた平成16年度の当初予算案であるとしたら絶対に容認することのできない独裁政治であり、過去、これほど議会を侮辱し市民を愚弄し続けた市長もいなかったであろうと思います。

現在、日本における国政や地方政治は、誰も否定することのできない議会制民主主義制度であり、言い換えれば民意を反映するため議員による間接民主主義を踏襲しているのです。貴方がいくら市民、国民の直接選挙によって選ばれた市長であっても、また、同じ議会制民主主義である国と言ってもアメリカ大統領のようなスタイルを真似ることは大いなる勘違いであり、貴方にその仕組みとそのような権限は与えられていないのであります。

話が横道に逸れてしまいましたので本論に戻します。

投資的経費を極力抑えると言うことでありますので別の角度から申し上げますが、貴方は市長就任後、平成12年5月より市長公舎に入居されております。聞くところによると自己所有の自宅があるとのことですが前市長の平岡さんもその前の荒木さんもそのまた前の山田さんも広島育ちの人間としては市民の皆さんに対する遠慮とその市長公舎建設の生い立ちなど市民感情を深く考慮されてお使いにならなかったことは想像に難くないところであります。

あるのですから「使用してはいけません」などと私ごときがとでも申すようなことではありませんが、せめて現状でお使いになられたら如何だったのでしょうか。市長の入居に際しては内外装工事に加え、照明器具や畳、表具の取替えなどかなりの改装費を要したと想像いたしますがどのくらいだったのかお尋ねいたします。

また、その後、庭には立派な樹木がたくさん植樹され、手入れが行き届いているようですが、入居後今日までのこうした改修費は全部でどのくらいの費用を要したのかも併せてお知らせください。

その他の費用として警備費用や庭木の剪定など市長公舎にかかるランニングコストはいくらを要しているのか。さらに電気、水道、ガス、電話など公共料金の支払いはどのようになっているのでしょうか。お尋ねいたします。

以上、お尋ねしたこれらの費用は議会に議案として示される年度当初予算や補正予

算の主要経費説明資料等に、過去、個別計上し示されていませんがどのように調達し執行されているのかお尋ねいたします。

また、この市長公舎の構造は鉄筋コンクリート2階建てとお見受けいたしますが敷地面積と延べ床面積をお知らせください。

また、この市長公舎の土地、建物等を一般市民同様、固定資産評価額に換算した場合、固定資産税はいくらになるのか。こちらもお聞きしておきます。

ところでこの市長公舎の賃料・使用料を市長さんは一体いくら支払いをされているのかお伺いして次の質問に移ります。

次に「公共工事見直し委員会」が示した中間報告の中からお伺いいたします。

国施行道路整備事業負担金で3項目示されたうち一般国道2号西広島バイパス都心部延伸、いわゆる2号高架についてであります。この事業についてだけが明確に「いったん中止」と報告されておりますがその理由について解りやすい説明をお願いします。

他の一般国道54号可部バイパスについては「当面実施が適当と認められる」、また、一般国道54号佐東拡幅、一般国道2号東広島バイパス及び安芸バイパスについては2案併記となったものの1案では「費用対効果が高いことから市が負担することも止むを得ない」との報告になっておりますがこれらとの違いが私にはハッキリと解りません。

一般国道2号の西方面からの都心部流入は市内における深刻な渋滞13個所のうち最重点個所に位置付けられていることから市内を東西に横断する大動脈の早期実現が西方面の住民だけではなく計画区域における大多数の沿線住民からも理解され要望されております。

現在は、それどころか観音高架1期工事完成後、それまでの旭橋西詰を先頭に発生していた渋滞個所が今では観音オフランプの先頭も新たな渋滞個所になっております。このことから私たち議員にも「早うええがにせえや。広島市は何ゆう考えとるんや!!」という罵声を浴びせられることもしばしばであります。

しかしながら1期延伸工事の完成によってそれまでの渋滞個所が従来の旭橋西詰と観音オフランプとに2分されたことは新たな渋滞個所の発生があるとは言え、紛れも無く延伸効果を証明するものであり、騒音値も開通1ヶ月後の調査では従前と比べて昼間で約9%、夜間では約13%低減しており、沿道環境の改善も図られております。今後は一日も早く計画どおり高架延伸工事が実施され開通することにより都心部への円滑な入り込みと通過交通との区分けが促進されるものと多くの市民が期待しております。

したがって私は、今の状態で放置することが一番中途半端であり、当初計画における事業全体の費用対効果を著しく損なうものであると考えておりますが当局の御所見をお伺いいたします。

昨年10月4日、観音高架延伸工事の1期区間開通に伴い秋葉市長は関係自治体の長

として、また、2号高架建設促進期成同盟会会長としてその開通式に出



席され、祝辞を述べられております。

ここでその一部をご紹介します。

「広島市は、中四国地方の中核都市として、都市機能の強化、都市の魅力の向上、地域経済の活性化など重要課題の解決に向けて、様々な施策を推進しており、とりわけ都市基盤となる幹線道路の整備は、緊急に取り組む必要があると考えております。」と述べられ、その必要性と緊急性について言及しておられます。

ところが年明けの1月5日には秋葉市長より広島国道工事事務所の所長宛に「平成15年度予算の年度内執行を見送っていただきたい」旨の申し入れが行われました。開通式からわずか3ヶ月後のことであり、このニュースを聞いたとき「まさか」と我が耳を疑いましたが、結果的に広島市のために国が予算措置したものを秋葉市長は2年連続で返上し、その計画を自ら遅延させたのであります。

現在、小泉内閣が実施している「三位一体改革」は厳しい補助金や交付税の縮小が行なわれており、地元負担が3分の1あるからといって、それを返上するだけの余裕が広島市のどこにあるのか理解できないのであります。

以上、時間の制約もあり、「その前提」、「秋葉市長の場合」、「中間報告の中から」という3つの分野に分けて質問させていただきました。これらの点について明快なご答弁をお願いいたします。

現在、広島市の置かれている状況は過去を振り返っても想像できないくらい厳しい環境にあると思います。そうした市政運営のなかで今、一番危惧されることは形や口先だけの民主主義を振りかざし、その実、疑心暗鬼で小心者が陥りやすい絶対服従の独裁政治を確立しようとしている秋葉市長、貴方ほど広島市にとって危険思想の持ち主はいないと思います。また、記者会見やその都度の取材により市長の一方的な発言や記事が活字となって新聞紙上を賑わすことも多々あることから、このようなことが市民の皆さんに対する先入観的思考を与えてきたことも事実であります。

最後に、過去、どれほど辛く、苦しいなかで先人たちが我が広島市を築いてきたのかということに思いをいたすとき胸の奥から熱いものが込み上げて、これを抑えることができません。

私はこのように未熟者で誠に微力ではありますが、血と汗と涙と悲しみと苦しみに耐えて、今なお歴史を刻む「我が愛するふるさと広島」を守るため、断固として戦い抜いて参る覚悟であることを申し上げ、終わりにいたします。御清聴誠にありがとうございました。

使用料・手数料が変わります

主な改定についてお知らせします。

公園使用料・入園料

《主な改正内容》

広島市植物公園、動物公園、森林公園の使用料・入園料を改定します。

(区 分)	(現 行)	(改 定)
大 人	440円	500円
小 人	150円	170円
実 施 時 期	平成16年4月1日	

火葬場使用料

《主な改正内容》

遺体の火葬料を下記のとおり改定します。

(区 分)	(現 行)	(改 定)
12歳以上 市 民	5,500円	8,200
其 他	30,000円	59,000
12歳未満 市 民	4,000円	5,900
其 他	18,000円	42,000
実 施 時 期	平成16年4月1日	

駐車場使用料

《主な改正内容》

平和大通りなど路上駐車場の午前0時から午前8時までの間を60分につき100円の料金を新設します。

実 施 時 期 平成16年4月1日

前納報奨金の廃止

《主な改正内容》

市税の納税奨励事業として前納報奨金制度がありましたがこれを廃止します。

実 施 時 期 平成16年4月1日

下水道使用料

《主な改正内容》

下水道使用料を平均改定率13.02%値上げします。このうち一般標準家庭（20㎡使用の場合）における基本料金と使用料は下記のとおりとなります。

(区 分)	(現 行)	(改 定)
基 本 料 金	625円/月	690円/月
一 般 標 準 家 庭	1,740円/月	1,990円/月
実 施 時 期	平成16年7月1日	

入 湯 税

《主な改正内容》

課税自主権の行使により広島市市税条例の一部を改正し、新たに入湯税を課税するものでいわゆるスーパー銭湯などがその対象です。

日帰り入湯客	1日につき	50円
宿泊入湯客	1泊につき	150円
実 施 時 期	10月1日	

佐伯区関係16年度当初予算

局	事 業 名	予 算 額
企画総務	新世代地域ケーブルテレビ施設整備補助金	5,725万円
市 民	集会所整備	480万円
社 会	民間老人福祉施設整備補助金	2,497万 8 千円
	民間心身障害者（児）福祉施設整備補助金	2 億2,050万 4 千円
	保育園整備	1,934万円
	民間保育園整備補助金	654万 6 千円
	児童館整備	330万円
	民間児童福祉施設整備補助金	50万 6 千円
経 済	農林業基盤整備	1 億7,530万円
	民有林整備	25万 6 千円
	県施行五日市漁港フィッシャリーナ整備事業負担金	7,230万円
都市計画	公園緑地等整備	1 億2,592万 9 千円
	住宅整備	4,239万 2 千円
都市整備	国・県施行港湾整備事業負担金	2 億5,386万 6 千円
	五日市地区開発	2 億4,636万 3 千円
道路交通	都市計画街路整備	3 億3,700万円
	道路整備	6 億4,485万 6 千円
	五日市旧港地区整備	4 億870万円
	交通安全施設整備	9,580万円
	橋りょう整備	2 億8,000万円
消 防	消防施設整備	1,299万円
教 育	小学校整備	8,653万 1 千円
	中学校整備	1 億1,166万 9 千円
	公民館整備	6,079万 2 千円
下 水 道	公共下水道整備	23億2,550万円
	排水設備整備	4,925万円
	諸設備新設改良	2,484万円
	急傾斜地崩壊防止対策	7,660万円
	普通河川改良	3,100万円
水 道	排水施設整備	9 億5,007万 9 千円
佐 伯 区 合 計		67億4,923万 7 千円

母谷たつりのり連絡先

広島市佐伯区美鈴が丘西五丁目17番12号 ☎929-9002
E-mail mokkun@cc22.ne.jp ☎929-9002

市議会 ☎504-2443
FAX 244-1419

広島市議会ホームページ <http://www.city.hiroshima.jp/gikai/index.html>
母谷たつりのりホームページ <http://www.motani.jp>